

声が聴かれにくい子ども・若者への意見聴取

実施方法

こども計画の検討にあたって、自ら声をあげることが難しい子どもに対して、日頃感じていることなどについてのヒアリングやアンケートを行った。

実施対象

LGBT、特別支援学級、日本語学級、不登校児童、ヤングケアラー、社会的養護経験者、ひきこもり状態（アンケート） 計22名

ヒアリング内容・主な意見（区への要望など）

川が汚いから綺麗になってほしい。よく土手で遊ぶ

バスや電車の乗り方・運賃が分かりやすくなってほしい。縦（南北）に走る電車があるといい

治安がもっと良くなってほしい。ポイ捨てがない街になってほしい

明るい街になってほしい。部活などで帰宅が遅くなるので街灯をもう少し設置して欲しい。

校則をなくして欲しい。中高生ならある程度判断できると思うので、やりたいことをやらせても良いと思う。大人には校則のようなモノはないと思うので、子どもにだけ制限かけるのはどうなのかと思う

プライバシー配慮のため、公共施設の男子トイレの個室化又は仕切りを設置してほしい

性差や虐待の有無など一人一人の状況がある。レッテル張りしないで個々の違いを踏まえた対応をして欲しい

災害対策をしっかりとやってほしい

声を上げづらい子ども当事者への意見聴取

ヒアリング内容・主な意見

子どもは親を選べず、その親の普通が子の普通になってしまう。学校生活の中などで、みんなと自分の違いを受け止めながら上手く生活している。その違いを受け止められず間違っただけで進んでしまう子や親に上手く手を差し伸べて欲しい

室内で遊ぶ場を増やしてほしい。区の施設は全体的に硬い印象があり、区が運営しているということで敷居が高い。区の青い看板がある施設にはあまり子どもは入りたがらない。他自治体ではTikTokなどで上手にPRされていた。魅力的な周知があると良い

各々が安心して過ごせる居場所があった方が良い。今の子どもはSNSなどもあり外に出なくてもそれなりに生活できるが、その子を引っ張りだすような仕組みを区でやってもらえると良い

家にはいたくないことが多く、友達の家やヤングケアラー支援施設にいと気持ちが落ち着く。公園などでもいいが、子ども食堂やみんなが集える施設や居場所がもっと増えると良い

自分が家にいない時に親の病状に変化があった時に頼る人がいないので、周りの方が支援できる環境にあると良い

自分が来日した時に何もわからなかったのも、色んな外国人が住めるように外国人を案内する人を増やしてほしい

外国の本をもっと増やしてほしい。大きい中央図書館にしかなく、東葛西図書館にはほとんどない。